

道徳 学習指導案

日	時：平成24年12月 7（金）第5校時（13時15分～14時00分）
学	年：中学部 1， 2， 3年， 重複
授	業 場 所：学習室1

1. 主題名 「前向きに挑戦する心を育む」

1－（2）より高い目標を目指し，希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志をもつ

資料名 「映像 山中教授 NHK iPS 細胞革命」

（参考資料：NHK ドキュメンタリー番組）

2. 主題設定の理由

（1）生徒の実態

本校中学部の生徒たちは素直である。学習にも真面目に取り組み，行事などの諸活動においても楽しんで参加する。集団での活動にも意欲的で，協力的に参加できる力を持っている。自信が持てれば，自分の目標をしっかりと定め，目標に向かって真面目に積極的に取り組む生徒たちである。

しかし，前籍校においてその力を発揮できず，多くの生徒が不登校を経験している。彼らは思春期ゆえの心理特徴として，悩みや葛藤などの心の揺れを常に繰り返している。心身のバランスを崩しやすいこの時期は，学校生活に不適応を起こしやすい時期でもある。この時期の生徒たちは，自分たちの心の揺れを，周囲の責任にしてしまうことも多い。自分たちの言動や行動が周囲の人をどんな気持ちにさせるかということに気づき，人との関わり方も考える学習の必要がある。

生徒たちの学習の習得状況は，個々により異なり，学習空白，未学習による遅れが目立つ生徒から，高い学力を身に付けている生徒まで幅が広い。学力への自信のなさが日常生活の不安やストレスにつながっている状況も認められる。

また，精神的に自立し，自分の判断で行動しようという意欲が高くなってくるこの時期の発達段階を考えると，できるだけ多くの友人と意見を交換し，自己の主体性を確立させていくことが必要である。自分や周りの人の長所と短所を知り，周囲の人との色々な価値観に触れる中で自己肯定感を持つことが，個々の生徒の主体性の確立につながる。

道徳の時間や自立活動，学校行事など特別活動との連携を図る中で，人間関係力を育み，自己肯定感の高揚を図る指導は，対人関係に不安を抱く本校の生徒には有効であると考えられる。

（2）ねらいとする道徳的価値

本校の生徒は人間関係の悩みや，思春期特有の心理的葛藤などから，自分に対して自信が持てず悲観的になったり，周囲に対して批判的になったりしがちである。自己肯定感を

育み人間関係力を高めることが本校の道德教育やスキル学習の大きなねらいである。

中学部の合同道德の授業では、「主として人との関わりに関する事」に重点をおいて指導計画を立てている。限られた人間関係の中で暮らす生徒たちに、自分たちの言動や行動が周囲の人をどんな気持ちにさせるかということを考え、人との関わり方についてより深く考えて欲しいとの願いからである。また、(1)で述べたような生徒の実態から、人との関わりから生じるさまざまなストレスに対応する力を生徒たちに育てていくことが求められる。

今年度は友達との協力が必要な活動や、その成果として大きな達成感を得るような状況を作り、経験を重ねる中で、感謝や感動を多く味わう場を設定した。そこで感じる思いやりや努力する心などを道德の時間の主題として取り上げた。

本授業では、自立活動と連携し、より良く生きていくために大切な「諦めずにのり越えて行く力」を育む学習について「谷底から頂上へ」というライフスキル学習(注①ライオンズクエストより)とあわせて全3時間の指導計画をたてた。

本時は困難に負けずに挑戦する事の大切さを主題としてとりあげた。失敗や困難を乗り越えたり、高い目標に向かう心を育むためには、諦めずに挑戦し続けていくことが大切である。困難を前向きに捉え、自分の目標を見だし、より強く生きていく力の育成を目指したいと考え、本題材を設定した。

(3) 資料について

中学部においては自立活動や道德の時間に学習した、ライフスキルやアサーションの方法を活用し、道德的実践力を養う取組を実践している。本授業計画では、第1時はライフスキル学習「心の成長と感情のコントロール」(ライオンズクエストより)、第2時ではライフスキル学習「人生の道のり」(ライオンズクエストより)、第3時(本時)は映像資料「iPS細胞 山中教授の人生」で教材を構成した。

注①:「ライオンズクエスト」

Lions Quest「思春期のライフスキル教育」プログラム。青少年の健やかな成長と薬物乱用防止を願って企画された総合的なプログラムで、小学校5年生から中学校3年生、10代前半の青少年を対象としている。このプログラムは、過程、学校、地域が連携して思いやりと誠意のある環境の中で、青少年に社会の一員として必要なライフスキルを身につけさせることを目指している。

*「ライフスキル」=人間関係やストレスなど、私たちが日常生活に直面する様々な問題に、

適正に対処する能力。

*「能力」=生まれつき備わっている能力ではなく、親などの周囲の人の行動を見て次第に身につけていくもの。

3. 指導について

中学部の在籍生徒は学級（学年）により人数に差がある。また，学期途中で入退院する生徒も絶えない。生徒同士は入院生活により，限定的な空間で生活している。

発達障害の生徒も多く在籍しているという実態，また，すべての生徒の関心意欲を高めるために，資料は，扱うテーマに適したテレビ番組やCM，写真など視覚的な資料を多く取り入れる工夫をし，ICTを積極的に活用することを心がけた。

また，道徳では道徳的実践力の育成に向けて，体験的な活動も取り入れようと考え，自立活動や特別活動との連携を図り，グループワークや^{注③}エンカウンター，ソーシャルスキルトレーニングにも取り組んでいる。

注③：「エンカウンター」

本音を出し合い，互いにそれを認め合う体験のこと。エクササイズによる共通体験の中で起こった感情について，メンバー相互の交流をする。この体験が，自分や他者への気づきを深めさせ，人とともに生きる喜びや，わが道を力強く歩む勇気をもたらすといわれている。

4. 指導計画（全3時間）

第1時「谷底から頂上へ（1）」（ライオンズクエストより）

ねらい：困難と思われる状況に出会ったときに，自分の考えや行動と認識し，影響を与える方法を学ぶ。

第2時「谷底から頂上へ（2）」（ライオンズクエストより）

ねらい：目標に向かっていくときにだれもが経験すると思われる挫折への対処法を学習する。

第3時「挑戦する強い心」

ねらい：先人の生き方から，前向きに挑戦する心を学ぶ。

5. 本時の目標

- ①困難な状況に出会っても，できるだけ前向きな考えや行動を選ぶことが大切であるという気持ちを育む。
- ②目標の実現に向けて，勇気や希望をもって挑戦しようとする心を培う。

個々の目標

（省略）

6. 本時の展開

	主な発問・指示と予想される生徒の反応・活動（・で表示）	ICT 機器活用・留意点
導入 5 分	<p>◆教材の題名を知る</p> <p>提示 「前向きに生きる」 この言葉を聞いて、どんな生き方を想像しますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前向きな考え方をする。 ・あきらめない。 ・努力する。 <p>◆山中教授の写真を見る</p> <p>発問 この写真の人を知っていますか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ iPS 細胞の人 ・ 京都大学 ・ 偽物が現れた。 <p>説明 この人はこの間ノーベル医学生理学賞をとった京都大学の山中教授です。日本人 19 人目のノーベル賞受賞者に輝いた山中教授ですが、その道程は決して順風満帆なものではありませんでした。今日は山中教授の研究者としての人生から生き方のヒントについて考</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材や資料は、パワーポイントを使って、電子黒板に提示する。 ・ 意見を言いやすい雰囲気を作る。
展開 1 ・ 1 0 分	<p>◆山中教授のドキュメンタリー番組前半を視聴する。</p> <p>◆DVD前半での山中教授の気持ちを考える。</p> <p>発問 山中教授が整形外科を目指した理由はなんでしたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校時代に足を骨折よく骨折をして、整形外科に通っていたから。 <p>発問 医者を目指した山中教授は失敗や挫折の連続ばかりでした。どんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ つらい ・ もういやや ・ やめたい <p>説明 失敗の連続の山中教授でしたが、今回ノーベル医学生理学賞を受賞されます。挫折感をいっぱい味わってきた山中教授はなぜ、このような成功を収めることができたのでしょうか。その原動力は何でしょう。DVDの後半を見ましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山中教授の写真を電子黒板に掲示。 ・ ノーベル医学生理学賞とは「前年に人類に最も貢献し、医学・生理学の分野で最も重要な発見をした人」に贈られる賞であることを口頭で補足 ・ 誰でもあきらめそうになったり、乗り越えられない壁に突き当たることがあるということをおさえる。

<p>展 開 2 ・ 1 5 分</p> <p>終 末</p>	<p>◆山中教授のドキュメンタリー番組後半を視聴する。</p> <p>◆DVD前半での山中教授の気持ちを考える。</p> <p>主発問</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>山中教授がノーベル医学生理学賞を受賞された原動力はなんだと思いますか。</p> </div> <p>・違う道を選択したときも前向きな気持ちを捨てなかったから。</p> <p>◆意見交流 数名を指名。</p> <p>◆山中教授が大切にしている恩師の言葉を聞く。</p> <p>説明</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>エピソード「V&W」（フォルクスワーゲンのエンブレム）を説明する。 Vision（長期の目標）とWork（がむしゃらにがんばる）の事である。</p> </div> <p>◆みんなに贈る言葉を聞く</p> <p>◆感想を書く。</p>	<p>・ワークシートに丁寧に文で書かせる。単語を並べるのではなく、文で書くことを押さえる。</p> <p>・フォルクスワーゲンのエンブレムを提示する。</p> <p>・しっかりと目標をたててそれに向かっていくことの大切さを再確認する。</p>
---	--	---

準備物：ワークシート，パワーポイント資料，映像資料。

7. 本時の評価

- ①困難な状況に出会っても，できるだけ前向きな考えや行動を選ぶことが大切であるという気持ちを育むことができた。
- ②目標の実現に向けて，勇気や希望をもって挑戦しようとする心を培えた。